墨田 区議会だより

第 38 号

発　行　昭和59年1月1日
発行所　墨田区議会事務局
〒130 墨田区横網一の6-1
電　話　626－3151(大代表)

第4回定例会

競輪の場外車券売場建設に反対

地域の環境保全に意見書を全会一致で議決

墨田区議会は、昭和五十八年最後の第四回定例会を、去る十一月十八日から三十日までの十三日間にわたって開きました。今回は四会派七名の議員が一般質問を行ったほか、昭和五十七年度各会計決算報告三件を認定し、区長提出議案九件、請願・陳情四件、意見書二件を可決し、又、任期が満了した墨田区選挙管理委員四名及び同補充員四名を新たに選出しました。

本会議初日の十八日は、始めに会期を三十日までの十三日間と決定した後、去る十月一日付で就任した墨田区監査委員、同教育委員、同選挙管理委員からそれぞれあいさつがありました。

引き続いて一般質問に入り、自由民主党、公明党、新自由・民社クラブ、日本共産党から一名ずつ、二日目の二十一日は、自由民主党から二名、新自由・民社クラブから一名の議員が、区政一般についてさまざまな角度から質問し、これに対して区長、教育長が答弁を行いました。

決算報告三件を認定

一般質問終了後、前回の定例会で決算特別委員会に審査を付託していた昭和五十七年度墨田区一般会計歳入歳出決算など決算報告三件を賛成多数で審査報告どおり認定しました。続いて墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例など条例三件、補正予算二件、土地の売払いについてなど三件、計八件の議案を議題とし、提案理由の説明を聴取した後、所管の各常任委員会に審査を付託しました。又、区民の方から提出された請願・陳情二件も、それぞれの常任委員会に審査を付託しました。

二十二日から本会議は休会に入り、各常任委員会を開いて、それぞれ付託された議案や請願・陳情などの審査を行いました。

選挙管理委員、同補充員を選出

定例会最終日、三十日の本会議は、各委員会で審査した議案を起立表決により賛成多数で可決し、請願・陳情四件も委員会審査報告どおり決定した後、衆議院議員選挙に要する経費を計上した補正予算を即決しました。

次に、任期満了に伴う墨田区選挙管理委員の選出を投票で行い、新しい委員四名と、選挙管理委員に欠員が生じた際、委員を務める補充員四名も選出しました。

続いて、議員提出の意見書二件を、いずれも委員会付託を省略し、全会一致で原案どおり議決しました。(二面参照)

最後に山崎区長からあいさつがあり、昭和五十八年第四回定例会を閉会しました。

空高く上がれ、わたしたちの凧
(木下川小学校凧上げ大会、荒川河川敷で58・1・13)

昭和五十七年度墨田区一般会計決算特別委員会で活発に審査

決算三件を認定

昭和五十七年度墨田区一般会計、同国民健康保険特別会計及び同老人保健医療特別会計、以上三件の歳入歳出決算を審査するため、決算特別委員会を去る十月二十四日から二十九日までの六日間にわたり開会しました。

委員会では、まず理事者から各会計全般の説明を受け、次に各費目における予算の執行実績や事業効果などについて、連日熱のこもった審査を行いました。

五十七年度は、厳しい財政状況の中で、不燃化助成地域の拡大や墨田まちづくり公社の発足があり、又、五十八年二月の老人保健法施行に伴い新しい保健衛生事業が開始された年でした。

委員会の最終日には、各会計決算に対して各会派が意見を述べ、採決の結果、三件の会計決算を賛成多数で報告のとおり認定することに決定しました。

竪川埋立て・下水道雨水ポンプ場の早期建設を

請願・陳情の審査結果

◎ 採択としたもの

◇ 竪川埋立て・下水道雨水ポンプ場早期建設促進に関する請願
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。

◎ 一部採択・一部不採択としたもの

◇ 原爆被爆者に対する見舞金の支給及び各種助成に関する陳情
一　採択とした分
○慰霊祭式典派遣費援助
○保養のための費用援助
○地区の会運営費助成
(意見) 趣旨にそうよう努力されたい。
二　不採択とした分
○被爆者への見舞金支給
(理由) 趣旨にそうことは困難である。

◎ 不採択としたもの

◇ 大型間接税導入反対に関する請願

◇ 大幅減税要求に関する請願
(理由) 現段階において、特に意見書を提出する必要性は認められない。

墨田区議会議長
原　正義

区民のみなさん、あけましておめでとうございます。

昨年は、すみだ産業会館の開館を始め、健康学園の改築おとしより相談コーナーの開設、大横川親水河川のオープンなど数々の施策が実現しました。経済社会情勢は、まだまだ厳しい状況ですが、区政は着実に進展しています。

昭和五十九年は、今までの施策をさらに充実し、中小企業指導センターの建設、錦糸町周辺再開発の促進、福祉対策の一層の充実に向けて、区民のみなさんの要望に応えた区政となるよう努力していかなければと決意しています。

今後ともよろしくご協力をお願いいたします。

副議長
木内　清(新自・民)
堺　美穂子(新自・民)
土橋　正造(自民)
中沢　進(自民)
坂下　修(自民)
熊谷　利之(自民)
小池　武二(自民)
渡辺　良(共産)
牛山　れい子(共産)
西　恭三郎(共産)
乙津　一行(新自・民)
中村　光雄(新自・民)
柴田　来治(自無)
阿部　幸男(自民)
佐藤　四郎(自民)
加藤　耕造(自民)
松野　弘子(自民)
坂岸　榮治(公明)
武ノ内啓次郎(共産)
石橋　正夫(共産)
原田　裕(新自・民)
大和久常雄(区ク)
村瀬　政幸(区ク)
西原　文隆(自民)
田中　左内(自民)
小早川　恵子(自民)
早川　幸一(自民)
槐　勲(公明)
薗田　隆明(公明)
矢口　甲子夫(公明)
湯本　令二(自民)
樋口　丈吉(自民)
沖山　満(自民)
瀧澤　良仁(自民)
柴田　昌男(自民)
原　正義(自民)
山崎　政吾(自民)
並木　保雄(公明)
甚野　緑(公明)
青山　政雄(公明)
(議席番号順)

墨田区議会議員は虚礼自粛の申し合わせをいたしました。本紙上をもって新年のごあいさつに代えさせていただきます。

一般質問

職員総数の5%削減は 区政運営の最重要課題と考える

区長答弁

今定例会では、十一月十八日、二十一日の二日間にわたり、四会派七名の議員が一般質問を行いました。その中では、職員数の削減、五十九年度予算編成方針、議員定数の削減、中小企業指導センターの建設などを取り上げ、これに対する区長及び教育長の考え方を聞きました。

職員定数削減は、民間委託の導入で

自由民主党

問　厳しい財政事情の下で、区民の複雑多岐にわたる要望に対応するためには、少数精鋭主義で当たるしかないが、施設の新設による職員配置や、新規事業も考えられる。59年度から五年間で、職員総数の5%を削減すると発表したが、実現には、思いきった民間委託の導入が必要だと思う。どう実施するのか。

答　職員総数の5%削減は、今期の区政運営で最重要課題と位置づけている。実現する手段として、事務事業の民間委託はもちろんのこと、事務事業の統廃合、退職職員の欠員不補充、事務の機械化等を用いて実施するが、住民サービスを低下させないよう、十分留意していきたい。

補助119号線のフタかけを

問　夢の架け橋「桜橋」の工事も着々と進行中だが、その完成を前にして、隅田公園と桜橋の間を分断している補助119号線にフタをかける問題と、ふるさと会館建設をどう考えているか。

答　補助119号線のフタかけは、むずかしい問題があり実現していないが、桜橋の完成で重要課題になると思う。ふるさと会館の建設も、区の文化観光振興のため、ぜひ実現したい。

伝統工芸の後継者確保策は

問　区内の伝統工芸技術や職人芸の保持者には高齢者が多く、伝統技術を後世に伝える後継者の確保が課題になっている。又区内自営業者も後継者の結婚難を抱えているが、どう考えるか。

答　伝統工芸技術者の後継者確保には、伝統工芸の文化的価値のPRや、展示即売など経済的基盤の強化で、又、自営業者の後継者確保は、中小企業の振興と、健全な男女間の交際機会の拡大を図ること等で努力したいなものであり、百年の大計に立った開発で、文化的要素をもつ結婚式場等も実現すべきだ。

又、これらは、地元の意見を参考にして進めるよう、国鉄、都、建設省に強く主張すべきだ

答　この地域の文化性を高めるために、文化会館との複合施設として、程度の高い都市ホテルの中に、宿泊施設と民間の結婚式場を合わせて誘致することも一つの方法であろう。又、政府の意向がどうあれ、地元の意見を聞くことは当然のことだ。

厳しい経済環境の中で来年度予算はどう編成するのか

公明党

問　景気の回復が楽観を許さず厳しい経済環境が続く中で、国や都においても、前年度と比べマイナスの予算編成が伝えられている。こうした状況で、来年度はどんな予算編成を行うのか

又、国が予定している所得税住民税の減税が区財政に与える影響と対処方針はどうするのか

答　来年度の予算編成は、原則として、経常的経費を前年度以下に押える方針で、重点施策についても、強化充実と施策間のバランスを考えながら編成したい。又、減税による影響については詳細は不明だが、厳しい状況になることは明らかだ。財政運営に支障を来さないよう努力する

錦糸町北側開発に文化的要素を

問　錦糸町駅北側再開発は、本区の将来の活性化にとって重要

区勢に合わせた議員数削減の実施をどう考える

新自由・民社クラブ

問　当区議会は、現在、法律で定めた議員数より少ない数で運営しているが、財政力指数も、議員一人当りの人口も、23区平均を下回る墨田区としては、さらに議員数を削減すべきだと思うが、区長はどう考えているか。

答　議員数を何で判断するかはむずかしい問題だ。話のあった指数も一つだが、区の状況、地勢、面積、区民意識、議会活動の状況、行政需要の内容等、いろいろな要因も判断材料になると思う。しかし、私の考え方をこの席で述べることは、立場上、差し控えたい。

老人介護者対策の拡充を

問　墨田区は、国や都を上回る速さで高齢化が進み、寝たきり老人などが増加している。介護者を援助するため、一時預り制度を拡充する必要があると思うがどうか。又、新しく発足した「救急ボランティア制度」への区民の理解を得る方策はどうか

答　老人を介護している方々への施策はいろいろ進めているが最も必要な福祉として、大いに拡充を図りたい。又、救急ボランティア制度は、町会長会議等で趣旨の周知を図っている。

都の減量経営路線に対する区長の政治姿勢は

日本共産党

問　区政運営の基本姿勢として効率的な行財政運営は当然だが区に対する国や都の下請けいじめ的なやり方を変えさせないで財政構造の弾力性の確保や、収支均衡した健全財政の維持と言ってみても、行政水準の維持、向上は図れないと思うがどうか

答　国や都の下請けを返上して独自の立場でいかないと、区民の生活は守れないということだが、私も、今までそうやって来ているし、今後も、他の区長や都とも協議しながら、そういう形で進んでいきたい。

指導センターの適切な運営を

問　中小企業指導センターは、あずま図書館の改築、勤労福祉会館の建設も併せて検討中ということで、実現が期待されているが、技術指導等はどの程度の業者を対象にするのか。又、ここに配置される人材と運営方法が成否を決めると思うがどうか

答　中小企業指導センターは、区内の中小零細企業全体を対象にするのが基本的考えだ。全国的にも注目される施設にしたいが、それには、人材と経営管理が問題だ。特に、人材確保は今から検討しているところだ。

隅田川のほとり ㉗

明治通り

北十間川の福神橋から、隅田川の白鬚橋まで、約三・二キロメートルを環状五号線「明治通り」が通っています。

この明治通りは、昭和八年に開通した向島で初めての舗装道路でした。

建設当時の北部地域は人家もまばらで、原っぱや田んぼ、畑が続いていました。第一寺島小学校などの校章が「くわい」の葉を形どっていることからも、このあたりは農村地帯であったことがうかがわれます。

この明治通りに接した東向島三丁目に、「向島百花園」があります。

これは、今から百八十年ほど前に日本橋の古道具商人だった佐原鞠塢（さはらきくう）という人が、武家屋敷跡地に、蜀山人などその時代一流の文人墨客の協力を得て開いたものです。

当時は、園内に三百本あまりの梅の木が植えられて、春になると園内いっぱいにその香りを漂わせました。梅は百花に先がけて（どんな花よりも早く）咲くところから、「百花園」と呼ばれるようになり、又、園内の歩道や池のかたわらには、四季折折の花が咲いて、江戸の庶民を楽しませました。

「おい、川向うに行こうか」

江戸時代には「向島の百花園」などと言わなくても話が通じるほどで、江戸庶民の格好の行楽地だったようです。

現在の百花園は、都立公園となり、又、文化財保護法によって名勝及び史跡に指定され、昭和五十七年には、新東京百景の一つにも選ばれました。

春の七草かご、夏の虫聞き、秋の月見、萩など今も人々を楽しませています。

「百花園」広重画　江戸名勝図会

※おわび　前回の「隅田川のほとり」の中で、「旧千葉街道が「馬車通り」とも呼ばれていた」と記載しましたところ、両国二丁目にお住いの青木様から「馬車通りは竪川から北へ二本目の道路で、旧千葉街道とは別である」とのご指摘をいただきました。調査不足を反省し、訂正しますと共に、おわびいたします。

議決した意見書（要旨）

人事院及び人事委員会勧告制度の尊重並びに地方自治の本旨の確立に関する意見書

政府は、公務員の労働基本権制約の代償措置として、長年定着してきた現行の人事院及び人事委員会勧告制度の趣旨を尊重し、地方自治の本旨に基づき地方公務員給与の決定を自治体自らの判断にゆだねるよう強く要望します。

内閣総理大臣・大蔵大臣・自治大臣・総理府総務長官あて

競輪の場外車券売場設置反対に関する意見書

マイタウン東京構想の中で副都心として発展が期待されている錦糸町駅周辺地域への競輪の場外車券売場設置計画に反対し、地域環境保全のために、規制措置を講じられるよう強く要望します。

通商産業大臣あて

京成電鉄押上線の立体化促進を要請

墨田区議会は、昭和五十八年第三回定例会、九月三十日の本会議で議決した「京成電鉄押上線の立体化促進に関する意見書（陳情書）」を提出しました。

十月二十七日は、建設大臣、運輸大臣、二十八日には、京成電鉄株式会社、さらに十一月八日には、東京都知事を、議長、各会派の代表者、区長が直接訪れて、京成電鉄押上線立体化の早期実現を強く要請しました。

あとがき

昨年は、四月の都知事選挙に始まり、続いて行われた区議会議員と区長などの統一地方選挙、六月の参議院議員選挙、さらに師走の総選挙と、国、地方を通じ選挙の年でした。

新しくなった区議会も二年目、今年も、区議会の活動をお知らせするため、区議会だよりの一層の充実に努力してまいります。

区議会事務局　調査係
☎626―三一五一内線247